

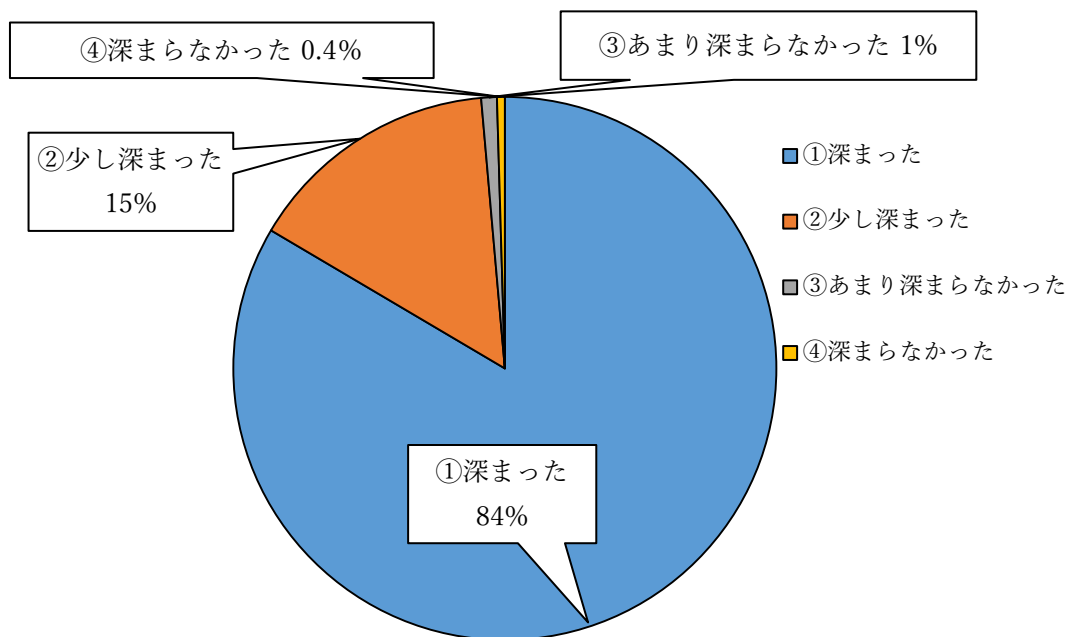
令和6年11月21日(木)に実施した「スケアードストレイト方式の交通安全教室」のアンケート結果について

I アンケートの概要

生徒の交通マナーに関する認知度や交通安全教室で受けた印象・感想などを調査することを目的とした。対象学年は交通安全教室に参加した1・2学年とし、Google Formsでアンケートを実施した。

II 各質問の回答結果 (n=430)

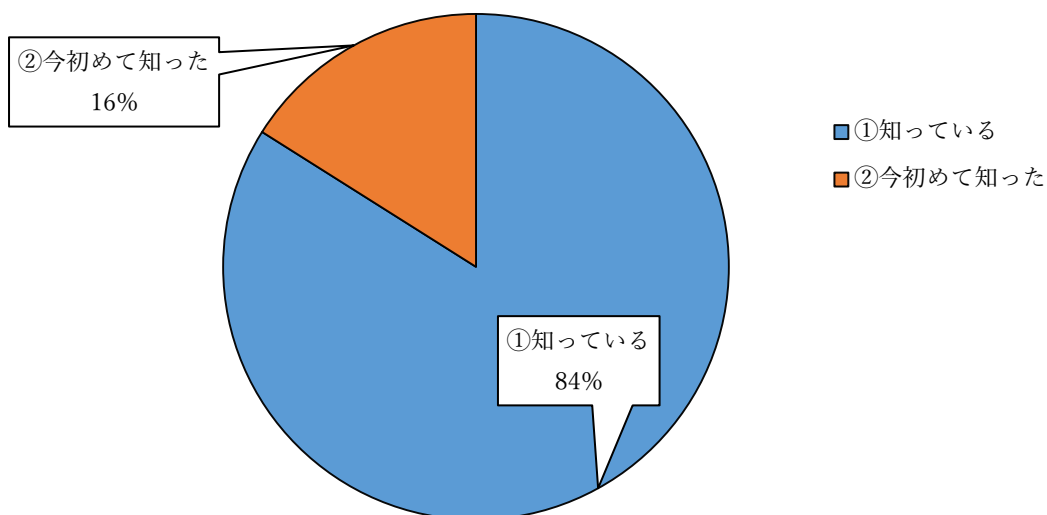
質問項目	回答数	割合
(1)交通安全に対する意識や理解が深まりましたか？		
①深まった	359	84%
②少し深まった	65	15%
③あまり深まらなかった	4	1%
④深まらなかった	2	0.4%



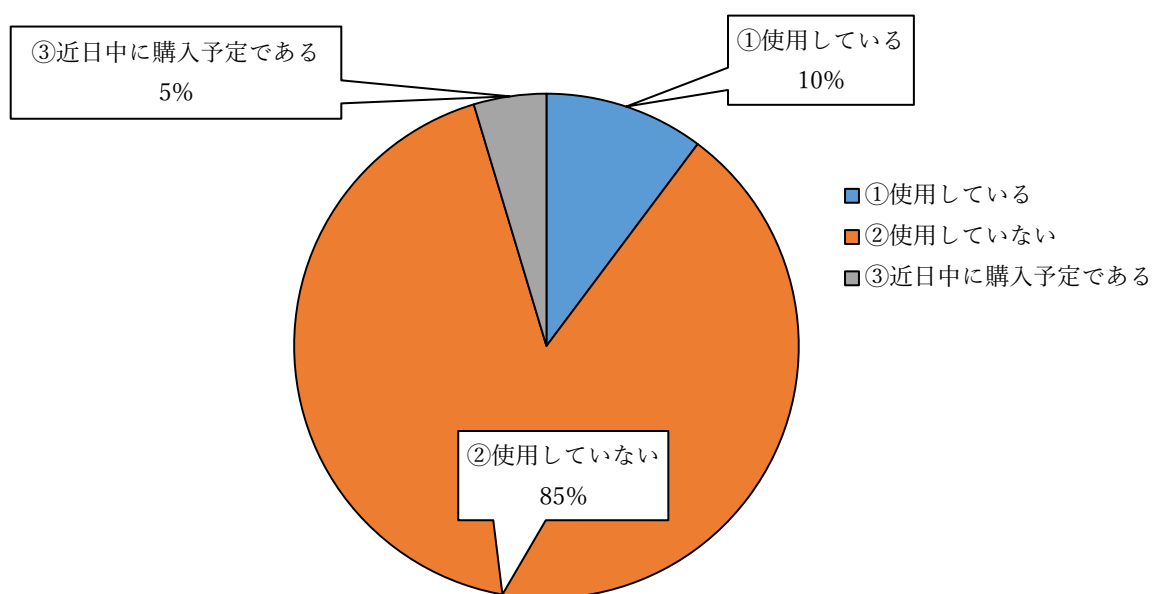
質問項目
(2) (1)の選択肢を選んだ理由を入力してください。(回答一部抜粋)
今まで自分の事として考えられなかったものを、再現をみて事故の危険性を実感できた。
間近で事故の瞬間を見ることで自分の想像していたことよりもっと危ないことがわかったから。
実際の事故の瞬間を見てこんな風になりたくないと思ったことや、良い例と悪い例の比較があって深まったと思ったから。
違反したことによりどのような事故が引き起こされるのかがわかったから。
話だけを聞くよりも、再現されたものだとしても実際に目で見るとどれだけ恐ろしいことなのかが実感出来たからです。
いつも自転車をよく使うから、すごく危ないなっておもったし、お互いが不利益だからほんとに気を付けようとおもいました。
自分が住んでいるところには自転車に乗っている人が多いから。
普通に自転車に乗っているだけでも事故に繋がることがあるんだなと思ったから
少しのマナー違反で加害者、被害者になってしまうことがわかったから。
スタントマンさんの実演を観て、改めて自転車は軽車両であり、交通ルールを守って使うべきだと思ったから。

質問項目
(3)今回の交通安全教室で一番印象に残ったことはなんですか？感想と合わせて入力してください。(回答一部抜粋)
横が見えない交差点では歩行者は正面しか見えず、一時停止しないと大変な事故になってしまうこと。
自転車で飛び箱にぶつかった時の衝撃と自転車の歪み具合がすごく印象に残りました。
自転車は免許も要らず誰でも乗れる手軽な乗り物だけど、とても危険だということがよく分かりました。
ヘッドフォンは思った以上に外の音を遮断しているというのが印象に残り、やらないように気を付けようと思った。
自転車がとても危ないなって思った。爆走した時にぶつかったら危ないから気をつけなきゃいけないなって思うことが出来た。怖いと思う。
よく並走等はしている人を見るが、改めて危険性が分かった。(スタントマンの方々が凄かった...)
お姉さんがルールを守っていて、他の人が守っていないときが印象に残りました。ルールを守っていても罪を擦り付けられてしまうのだなと思ったからです。また、どのような事故が起こるのか実際に見ることができて、よりいっそうルールを守ろうと感じることが出来ました。
傘さし運転の事故が印象に残りました。雨が降っている時には運転しないかカップを着て運転していきたいと感じた。
自転車同士でぶつかった時に人が吹っ飛んでいって、少しルールを守らないだけであんなことになってしまうのかと思いとても怖くなった。
日頃ニュースなどでは損壊した車や自転車などは映し出されても、あまり身近に感じないけれど、交通事故は本当に身近なことで、自分ができるような対策はきちんとしてとても危険なことなので気をつけたいと思いました。

質問項目	回答数	割合
(4)令和5年4月から、自転車乗車の際には【ヘルメットの着用が義務化(着用しなければいけない)】されたことを知っていますか？		
①知っている	361	84%
②今初めて知った	69	16%



質問項目	回答数	割合
(5)現在、通学している時や、日常生活で自転車に乗車する際、ヘルメットを使用していますか？		
①使用している	44	10%
②使用していない	366	85%
③近日中に購入予定である	20	5%



実施時の様子（本年度の交通安全教室は、雨天のため体育館で実施）



Ⅲ 各回答結果を踏まえての今後の方針

道路交通法が改正され、11月から自転車運転中にスマートフォン等を使用する「ながら運転」の罰則が強化されることとなった。このようなタイミングで、スケアードストレイト方式の交通安全教室を実施できたことで、自転車による事故から自分自身や周囲の人を守るための交通ルールやマナーについて再確認する有意義な機会となった。

本年度の交通安全教室は雨天のため体育館での実施となったが、アンケート回答にもみられるように交通ルールやマナーを違反することでどのような危険性があるのかを十分に理解できたと考えられる。

昨年度のアンケート回答と比較しても、ヘルメットの着用が義務化されたことへの理解や実際に着用している実数は増加傾向にある。昨年度、コロナ期間を経て5年ぶりに実施した交通安全教室の効果も一定程度みられると考えられる。一方で、依然としてヘルメットを着用している割合は1割弱に留まっていることから、交通安全教室の実施や継続的な日々の指導により、交通ルールの順守のみならず、ヘルメットの着用といった具体的な安全対策への意識を生徒の中に醸成していきたい。